

令和7年度第2回 おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議

日 時 令和7年11月17日（月）
10時30分～

場 所 おいらせ町役場本庁舎 庁議室

— 次 第 —

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 町長あいさつ
4. 案 件
 - (1) 会長・副会長の選任について
 - (2) まち・ひと・しごと創生総合戦略について
 - (3) 昨年度の活動（これまでの経緯）について
 - (4) おいらせラボについて
 - (5) 今後のスケジュール
5. その他

配布資料

資料1	おいらせ町人口ビジョン（令和7年改訂版）
資料2	第3期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略
資料3	第2期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和5年度指標（KPI）の達成度

(令和7年度) おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員名簿

令和7年11月1日～令和9年10月31日 委嘱の日から2年間

No.	条例区分 第3条関係	地方創生国区分 (産官学金労言士)	所属団体	職名	氏名
1	学識経験	教育機関	弘前大学大学院 地域社会研究科	教授	平井 太郎
2	国又は県の地方 行政機関の職員	行政機関	厚生労働省青森労働局 三沢公共職業安定所	所長	楨 公彦
3	国又は県の地方 行政機関の職員	行政機関	青森県上北地域連携 事務所 地域支援課	課長	関 和洋
4	公共的団体の 役員及び職員	産業界	おいらせ町商工会	理事	三浦 広宣
5	公共的団体の 役員及び職員	住民	おいらせ町地域活動 連絡協議会	会長	佐藤 豊
6	その他	産業界	下田タウン株式会社	代表取締役 社長	高田 雅史
7	その他	金融機関	青森みちのく銀行 百石支店	支店長	高村 太
8	その他	教育機関	青森県立百石高等学校	校長	木村 紀子
9	公募委員	住民			松崎 理恵
10	公募委員	住民			大沼 可奈
11	公募委員	住民			和田 茂憲

(事務局)

政策推進課 課長 田中 貴重
課長補佐 川原 真栄子
主任主査 馬場 祐二

(1) 会長・副会長の選任について

条例別表1 会長等の選任方法により委員の互選により選出する。

会 長

副会長

おいらせ町執行機関の附属機関の設置等に関する条例（抜粋）

(附属機関の設置)

第3条 町長の附属機関として別表第1、教育委員会の附属機関として別表第2及び町長及び教育委員会の附属機関として別表第3に掲げる附属機関を設置するものとし、附属機関の所掌事項、委員の定数、委員の構成、委員の任期、会長等の選任方法及び庶務担当課は、同表の当該各欄に掲げるとおりとする。

2 前項の規定にかかわらず、附属機関の委員に欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員の委嘱等)

第4条 附属機関の委員は、法律に別に定めのあるものを除くほか、別表に掲げるもののうちから必要に応じ執行機関が委嘱又は任命を行うものとする。

2 附属機関の委員は、再任を妨げないものとする。

附属機関	所掌事項	委員の定数	委員の構成	委員の任期	会長等の選任方法	庶務担当課
おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議	町長の諮問に応じ次に掲げる事項について調査審議すること。 (1)おいらせ町人口ビジョンに関する事項 (2)まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条に規定する市町村まち・ひと・しごと創生（以下「総合戦略」という。）の策定及び見直しに関する事項 (3)総合戦略の検証に関する事項 (4)その他町長が必要と認める事項	20人以上 (公募による者を含む)	(1)町教育委員会の委員 (2)町農業委員会の委員 (3)国又は県の地方行政機関の職員 (4)町内の公共的団体の役員及び職員 (5)学識経験を有する者 (6)その他町長が必要と認める者	2年	(1)会長委員の互選 (2)副会長委員の互選	政策推進課

(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略について

①おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

日本全体が少子高齢化・人口減少の影響を受けており、国では全国的な人口減少とそれに伴う地方の衰退に歯止めをかけるため、まち・ひと・しごと創生法第8条の規定に基づき、まち・ひと・しごと創生総合戦略を平成26年12月27日に決めました。

当町では、町の人口の動向や推移を長期的に予測・分析した長期ビジョンである「おいらせ町人口ビジョン」と国や県の総合戦略を勘案し、平成27年度を初年度とする5か年の目標や具体的な地方創生の施策等をまとめた「第1期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年10月に策定しました。

令和7年3月には、社会情勢の変化等を踏まえ、おいらせ町人口ビジョンの改訂と新たに5か年を計画期間とした「第3期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

【おいらせ町人口ビジョン 令和7年改訂版】・・・・・・・・・・資料1

おいらせ町人口ビジョンとは、様々なデータを基においらせ町の人口の動向や推移を長期的に予測・分析したものです。現在、町が目指す目標人口は、令和32(2050)年20,100人です。この目標人口を達成するために重要な4つの基本的視点を、総合戦略と連動して進めていきます。

・おいらせ町人口ビジョン(令和7年改訂版)で掲げた4つの基本的視点

- | |
|--------------------------------------------------------------------------------|
| ① 結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる
② 新しいひとの流れをつくる
③ 働きやすい職場環境をつくる
④ 安心して暮らせる地域をつくる |
|--------------------------------------------------------------------------------|

【第3期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略】・・・・・・・・・・資料2

・第3期おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

計画期間	2025年度～2029年度(令和7年度～令和11年度)
基本目標	①結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり ②新しいひとの流れの創出・拡大 ③地域産業の育成と働きやすい職場環境の整備 ④安心して住み続けることができる地域づくり
地域ビジョン	子どものびのび 大人いきいき ともに作るおいらせ町
横断的目標	「魅力ある職場づくりと子育て環境を充実させ、移住・定住を促進させる」

②推進体制

- ・まち・ひと・しごと創生推進本部(町幹部職員19名:決定機関)
- ・まち・ひと・しごと創生推進本部幹事会(町課長補佐職員12名:施策の企画調整等)
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略会議(外部委員組織11名:諮問機関)
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略会議検証部会(戦略会議内組織:事業検証作業)

③まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の役割

- ・おいらせ町人口ビジョン、おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定及び改訂に関する事項
- ・総合戦略の検証に関する事項
 - ⇒総合戦略内の数値目標・重要評価業績指標（KPI）の達成状況の確認・検証等
 - ⇒部会（おいらせラボ）等

（３）昨年度の活動（これまでの経緯）について

①昨年度の活動概要

No.	時期	内容	部署
1	R6.7	○令和6年度第1回推進本部会議 →総合戦略進捗状況（KPI）調査、人口ビジョン改訂版及び第3期町総合戦略の策定方針の決定	推進本部
2	R6.7	○令和6年度第1回戦略会議 →人口ビジョン改訂版及び第3期町総合戦略の策定方針の審議	戦略会議
3	R6.8~10	○令和6年度第1~2回幹事会 →総合戦略進捗状況（KPI）調査、人口ビジョン改訂版及び第3期町総合戦略（案）の策定	幹事会
4	R6.12	○令和6年度第2回戦略会議 →人口ビジョン改訂版、第3期町総合戦略の諮問	戦略会議
5	R7.1	○令和6年度第3回戦略会議 →人口ビジョン改訂版、第3期町総合戦略の答申	戦略会議
6	R7.2	○令和6年度第2回推進本部会議（庁議） →人口ビジョン改訂版、第3期町総合戦略の決定	推進本部
7	R7.3	議会 →人口ビジョン改訂版、第3期町総合戦略の決定、総合戦略の取組経過、戦略会議の報告	推進本部
8	R7.8	○令和7年度第1回戦略会議 →おいらせラボの報告	戦略会議

②数値目標・重要評価業績指標（KPI）の達成状況・・・・・・・・・・資料 3

第 2 期町総合戦略では、29 の数値目標・重要評価業績指標（KPI）を設定していました。達成状況は、次のとおりとなりました。なお、「高」「中」を合計した達成率は、69.0%となりました。

達成度	項目・割合	項目数（29 項目中） ※数値目標含む	割合
達成度	高	13 指標	44.8%
達成度	中	7 指標	24.1%
達成度	低	9 指標	31.0%

達成度高、中 ⇒ 69.0%

※小数点以下 2 位を四捨五入して算出しているため、合計値が 100%を上下しています。

(4) おいらせラボについて

おいらせラボは、おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略内の施策の効果検証や地方創生について、意見交換や事業の研究・提案等を行う少人数の部会です。

○おいらせラボの役割

- ・町総合戦略内の施策や地方創生事業の効果検証等
- ・町の地方創生に関する研究、事業の提案等

①前部員の活動報告

●1年目（令和5年度～令和6年度）

- ・おいらせ町の発展に向けた問題提起や事業案の調査、検討しました。
- ・調査、検討した事業案等について、意見交換を行い、事業化に向けて、組み合わせや磨き上げを行いました。
- ・短期（2025年～）で検討する事業と中長期（～2030年～）で検討する事業に分け、5つの事業を町に提案しました。

○提案事業1 未来へのpassportが得られるおいらせ副読本

事業名	未来へのpassportが得られるおいらせ副読本 【「未来passport」×「お試し移住助成金」】
事業概要	現在町には、移住パンフレットがないが、県内でも特に移住者が多く、その「人」たちが町の重要な資源となっている。町の移住情報と移住者たちのライフスタイルをまとめた移住電子パンフレットを「おいらせ副読本」として作成する。
事業効果	・インターネットを活用し、町の移住情報を発信できる。 ・移住者のライフスタイルを紹介することで、町での暮らしを想像しやすく、より移住につながる。 ・児童や生徒に配布することで、町での暮らし方、町の職業などを勉強できる資料（教材）にもなり、町のキャリア教育の充実につながる。
結果	移住担当である政策推進課に提案した。 ・移住パンフレット作成（令和7年度作成予定）の参考とする。 ・お試し移住助成金は検討中。令和6年度からお試し地域おこし協力隊を実施した。

○提案事業2 おいらせ町地域資源循環システム創造プロジェクト

事業名	おいらせ町地域資源循環システム創造プロジェクト【ごみの資源化事例】
事業概要	現在、おいらせ町のごみの排出量が増加している。青森県の事業である「青森県地域資源循環システム創出事業」を活用し、家庭ごみ、事業ごみ、農産物（長芋の残渣）ごみの削減に向け、おいらせ町独自の資源循環システムを検討してはどうか。
事業効果	・町のごみの排出量を削減できる。 ・県の事業を活用することで、事業費の助成やアドバイザーの派遣等の支援を受けながら、資源循環システムを構築できる。
結果	廃棄物担当である町民課に提案した。

○提案事業3 DV シェルター事業

事業名	DV シェルター事業【DV 対策】
事業概要	現在、DV 被害者は県の施設に避難しているが、収容人員に限りがある。昨年も町にDV 被害の相談があったため、DV 被害者が一時的に避難できるシェルター（宿泊施設）を設置する。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・DV 被害者を守ることができる。被害者がシェルターに避難している間に、町等の関係機関が対応を検討できる。 ・子育て世帯のDV 被害も多いため、子育て世帯が多い町だと必要である。 ・DV 被害者だけではなく、被災者向けのシェルターにも活用できる。
結果	<p>政策推進課（広域市町村連携担当）、保健子ども課（DV 担当課）に提案した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテル等の宿泊施設と協定を結んでいる弘前市を視察した。 ・八戸圏域連携中枢都市圏でDV ワーキンググループ会議が立ち上がった。

○提案事業4 グリーンインフラ（公園・河川）によるウェルビーイング（幸福度）を向上するまちづくり

事業名	グリーンインフラ（公園・河川）によるウェルビーイング（幸福度）を向上するまちづくり【「公園管理事例」×「SDGs 自然緑地公園」】
事業概要	町の社会減対策として、地域の賦存する価値を見える化する必要がある。その中で、町の資源でもある自然豊かな「下田公園」「いちょう公園」等を国が認定する自然共生サイト（国民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域）とすることで、様々な活動や事業を展開する。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs、生物多様性、防災等、公園の可能性を広げることができる。 ・自然共生サイトとして国に認定されることで、国から様々な支援（補助金、アドバイザー派遣）を受けられる。 ・大学等と連携し、下田公園やいちょう公園で、子どもたちと生物調査等のBioBlitz（市民参加型生物調査）のような活動が挙げられる。
結果	<ul style="list-style-type: none"> ・協力団体が必要になる等、長期で検討すべき事業のため、現時点での提案は保留とした。 ・下田タウン株式会社とNPO 法人 CROSS で、イオンモール下田のブナパークをビオトープにした。

○提案事業5 空き家を活用した事業

事業名	空き家を活用した事業 ※仮称
事業概要	町内の空き家を活用した事業を検討している。
今後の方向性	おいらせラボで協議する。

● 2年目（令和6年度～令和7年度）

- ・空き家を活用した地方創生事業（シモクバ）を検討しました。
- ・デジタル技術の活用と公共交通の充実をテーマに事業案の調査、検討しました。
- ・イオン主催の「これからのまちづくりを考えるワークショップ」に参加しました。

○空き家を活用した地方創生事業

事業名	空き家を活用した地域の交流の場づくり
事業主体	佐々木商事株式会社
事業概要	不動産業者が主体となって空き家（おいらせ町下前田）：シモクバを活用し、地域の交流の場として運営する。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の予防及び有効活用 ・高齢者の居場所づくりや世代間交流の場の創出 ・デジタル技術を学ぶ場（まずは高齢者向け）としての活用
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・下前田地区の新たな拠点（集会所）としても活用できるのではないかと。 ・今後は、周辺にみなくなる館や王将館があるので、こどもの居場所づくり、伝統芸能の拠点としても応用したい。 ・事業者の主体のまちづくり活動を行政が支援する事例となる。
要望	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に対して、有識者等からアドバイス等をいただきたい。 ・持続可能な仕組みづくりを検討したい。
総合戦略との関連	第3期町総合戦略 基本方針 施策②-ア 移住・定住に向けた環境整備
今後の方向性	青森県の「持続可能な地域社会構築に向けた市町村伴走支援事業」を活用する。



○デジタル技術を活用した学びの場、集う場、コミュニケーションの場の検討

提案事業	今後の方向性
新庁舎、シモクバ、北部出張所等に無料 wi-fi スポットを設け、町民が自由に集い ICT 機器を活用した異世代間交流の場とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・シモクバに提案 ・関係課に提案予定
RAB アプリやほっとスルメールに「(仮)おいらスポット」をリンクさせ、町の防災無線等が聞けるようにする。	関係課に提案
地域のデジタル化推進をミッションとする地域おこし協力隊	町地域おこし協力隊員が町内の自主防災組織向けに LINE 講座を実施した。
地域おこし協力隊員制度を活用し、初心者向けスマホよろず相談会を実施	
プログラミング教育の一環で町の魅力を PR する取組	
ごちゃまぜアパート「ノビシロハウス」 アパート+コミュニティスペース+地域の医療拠点	
	政策推進課で検討 →空き家活用の可能性

○町の公共交通の充実に向けた提案

提案事業	今後の方向性
下田駅～百石高校～イオンを結ぶ無料自転車（位置情報付）無料特定小型原動機付自転車（位置情報付）を設け、WAON 決裁専用にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン主催のワークショップに提案 ・おいらせ町地域振興協議会にて検討
イオン外周に健康ロードを設け、ランニング、特定小型原動機付自転車、シニアカーがそれぞれ走れるようにする。	・イオン主催のワークショップに提案
おいらバスや町民バスの運行状況が分かる位置情報アプリ対応型とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン主催のワークショップに提案 ・おいらせ町地域振興協議会にて検討
村民バスと乗り合いタクシーを活用したデマンド交通の整備	
LINE ともだち申請による「友達バス」	
Drive my car「ライドシェア」	

○イオン主催「これからのまちづくりを考えるワークショップ」について

5月15日には、イオンモール下田主催のまちづくりワークショップに参加しました。

目 的

新庁舎と新病院がイオンモール下田周辺に建設されることに伴い、町とイオン(株)が連携することで課題解決や町の発展につながる「まちづくりのアイデア」を自由に発言する。結果は、最終的においらせ町のまちづくり構想等に反映する。

参加者

おいらせ町役場職員、イオン(株)関係者、おいらせラボ部員

結 果

A グループ・・・イオンモール下田・公共交通・チャレンジショップ等で使える「夢を応援する」ポイントプロジェクトを企画した。具体的には、健康診断、古紙回収、イオンモール、公共交通機関等でためて使える町内ポイントとして広めていく。

B グループ・・・イオンの中にチャレンジショップ（居酒屋等も含む）、医療機関専用のチャレンジクリニックを企画した。具体的には、また夜のチャレンジショップを「ナイト（夜）イオン」と題して、美容イベント、屋外ビアガーデン、イオン内に泊まれるトレーラーハウスの設置等を企画してはどうか。それに合わせてイオンモール下田で出しているシャトルバスの範囲拡大やレンタサイクル等も展開する。

C グループ・・・つながるイオンとして、子ども同士からお年寄り同士、バーチャルとリアル等をつなげるような事業や活動を企画した。つながるための2本柱としては、まずは「ポイント制」を導入する。何でも好きなことをするとポイントが貯まる仕組みをつくる。ポイントはイオンモール下田で使える。もう一本の柱は「場づくり」。みんなが参加できる場所をつくる。例えば、プレイパークやキャンプ場等、外から見ても楽しそうな場所をつくる。併せて、イオンモールの外側にある林や田んぼを横断的に活用し、使いたい人たちが一緒になってつくっていくことを提案した。

②部員の選任

戦略会議委員の中から数名を選任します。後日、文書で募集しますので、部員希望者は12月19日までに事務局にご連絡ください。

(5) 今後のスケジュール

No.	時期	内 容
1	令和7年11月	第2回戦略会議（委員の委嘱等）
2	令和7年12月	おいらせラボ部員の選出
3	令和8年1月	第3回戦略会議（おいらせラボの報告等）
4	令和8年3月以降	本部会議、おいらせラボ等を実施